

■SUBARU 環境保全自主取り組み計画

第6次環境ボランティアプラン（2017～2020年度）

【3】公害防止・有害化学物質使用削減

領域	項目		2020年度までの目標・取り組み	2017年度
				目標
商品	低排出ガス化	◆ 大気環境改善のための低排出ガス車の導入を推進	◇ 日本：WLTPにおける低排出ガス基準認定車を拡大（SUBARU生産車） 海外：各国、各地域大気環境改善のための低排出ガス車の導入を推進	・リアルワールドでの排出ガス抑制のための先行開発。 WLTPベースでの排出ガス規制に向けた量産開発
	環境負荷物質の使用低減	◆ 環境負荷物質の管理拡充および、更なる低減を推進	◇ 製品含有化学物質の管理強化 ◇ 環境負荷のより少ない物質への代替推進	・全品番調査体制を整え、管理精度を高める ・環境負荷のより少ない物質への代替を推進
生産	自動車	◆ 自動車生産ラインにおけるVOC(揮発性有機化合物)の排出量原単位 (g/m ³) を更に削減	◇ VOC排出量原単位を削減	・VOC排出量原単位を削減
		◆ PRTR法対象化学物質の環境への排出量削減を継続	◇ PRTR法による指定化学物質を把握・管理すると共に、更なる削減を推進	・PRTR法による指定化学物質を把握・管理
	生産工場における環境負荷物質の管理と排出削減	◆ 環境上の構外流出事故・苦情・法基準値超過の発生ゼロを目指した活動を推進	◇ 環境リスク低減活動などを通じて、環境事故・苦情・法基準値超過の発生ゼロを目指した活動を推進 ◇ 上乗せ自主基準値を設定し、小さなリスクの撲滅活動を推進	・環境リスク低減活動などを通じて、環境事故・苦情・法基準値超過のゼロを目指した活動を推進